

日本婦人科腫瘍学会雑誌
論文投稿規定

1. 資格

著者(共著者を含む.)は,原則として公益社団法人日本婦人科腫瘍学会(以下「本学会」という.)の会員に限る.

2. 掲載論文

1. 論文の種類は総説,原著,症例報告またはその他とし,婦人科腫瘍の病理,診断(コルポスコピーを含む),治療および遺伝子情報等に関する研究の進歩,発展に寄与しうるもので,他誌に発表されていないものに限る.
2. インフォームドコンセントを取得の上,患者の生命・健康・プライバシーおよび尊厳を損なわないことに留意する.

3. 執筆要項

1. 原則として和文とする.
2. 原著,総説および症例報告の様式は,題名,所属,著者名,概要, key word, synopsis, 本文, 文献, 図表, 写真の順に記述する.
3. 題名, 所属, 著者名を和文と英文で併記する.
4. 内容抄録を概要として500字以内にまとめる.
5. key wordは論文の内容を暗示する英語の単語を5語以内とする. 原則として第1語は対象臓器(uterine cervix),あるいは使用動物. 第2語は方法. 第3語以後は内容を暗示する単語とする. Medical Subject Headings (MeSH, Index Medicus)を参考とすること.
6. synopsisとして200語以内の英文抄録を記載する.
7. 原稿は,横書きA4判800字詰(32文字×25行,12ポイント程度)とする. いずれの場合も,用紙の右上に頁数を明記すること.
8. 度量衡単位はcm, mm, μ m, cm^2 , ml, l, g, mgなどを用いること.
9. 図表の引用は,該当文章の末尾に挿入する.
10. 症例について記載する時には,プライバシーの保護の観点から,必要最小限の情報のみを記載すること(例えば,来院日や手術日などは具体的に月日までは記載せずに年号のみを記載する). また,インフォームドコンセントを取得し,被験者の生命・健康・プライバシーおよび尊厳を損なわないことに注意する.

4. 論文の長さ

論文の長さ 原著,総説及び依頼原稿は,横書きA4判800字詰(32文字×25行,12ポイント程度)12枚以内とする. 図表,写真は,10枚以内を原則とする.

症例報告,その他は,横書きA4判800字詰(32文字×25行,12ポイント程度)8枚以内とする. 図表,写真は,5枚以内を原則とする.

カラー写真は1頁4~8枚で2頁以内とする(有料).

カラー写真掲載料

カラー図点数/論文	4点まで	5点	6点	7点	8点
カラー1頁	¥49,500	¥52,500	¥55,500	¥58,500	¥61,500
カラー2頁	¥72,000	¥75,000	¥78,000	¥81,000	¥84,000

・実際の印刷部数や本全体のカラー印刷箇所構成で金額が増減する可能性があります.

5. 文献

文献は,本文中に肩付した引用番号順に配列する.

文献の書式は,「生物医学雑誌への投稿のための統一規定」(バンクーバー・スタイル)に準ずる.

(雑誌の場合) 著者名(全員): 標題, 雑誌名 発行年(西暦); 巻: 頁数.

(単行本の場合) 著者名(全員): 標題. 単行本名(編者名 全員) 発行地: 発行元; 発行年(西暦). 頁数.

[例]

1) 雑誌

岩崎雅弘, 寒河江悟, 伊藤英樹, 西川 鑑, 工藤隆一: 上皮性卵巣癌における腹腔内細胞診に関する検討. 日婦腫瘍雑誌 1998;16:216-220.

Orii A, Mori A, Zhai Y-L, Toki T, Nikaido T, Fujii S: Mast cells in smooth muscle tumors of the uterus. Int J Gynecol Pathol, 1998;17:336-342

2) 単行本

坂本穆彦: 女性生殖器. 標準病理学(町並陸生, 秦 順一編) 東京: 医学書院; 1997. 第1版 571-594.

Jansen R: Intersex. Surgical Pathology of the Ovaries (Russell P, Farnsworth A, ed.) New York: Churchill Livingstone; 1997. 2nd ed. 81-90.

6. 転載許諾は, 著者の責任において取得すること.

7. 二重投稿や同時投稿でない旨を明記した書類を編集委員長宛てに添付する.

8. 利益相反 (conflict of interest) の開示

投稿する論文の内容に関する利益相反の有無を筆頭著者、共著者全員について論文の末尾に明記すること。明記する内容については学会ホームページに掲載されている利益相反開示事項を参考にすること。論文投稿に際し、著者全員の利益相反自己申告書を別途添付すること。なお書式は http://www.jsgo.or.jp/topics/index01_04.html からダウンロードし、用いる。

9. 英文校閲

Synopsis は、投稿前にネイティブまたはそれに相応する校正者による英文校正を受けることとする。

10. 掲載料

編集委員会の意向により一部著者負担とする。カラー印刷と別刷については、著者負担とする。

11. 原稿の送付先

投稿方法は電子投稿に限る。 <http://mc.manuscriptcentral.com/jjgo> にアクセスし、必要事項を入力の上、表示される指示に従って投稿すること。

12. 論文の採否の決定

論文の審査にあたっては査読制をとる。編集委員会

より委嘱された査読者の意見を参考にして、編集委員会の審査により採否を決定する。原稿の組体裁割付は編集委員会に一任する。

13. 校正と別刷

著者校正は原則として初校において行う。印刷所から送付された校正は、必ず3日以内に返送する。投稿者が連名のときは、校正の責任者と送り先を投稿稿のとき指示する。校正は間違いを訂正する程度とし、原稿にない加筆や訂正をしない。

別刷を希望するときは、校正時までには部数を明記して申し込み、その費用は、著者負担とする。

(平成 14 年 20 巻 4 号より一部変更)

(平成 16 年 22 巻 1 号より一部変更)

(平成 19 年 25 巻 4 号より一部変更)

(平成 20 年 26 巻 1 号より一部変更)

(平成 24 年 30 巻 1 号より一部変更)

(平成 24 年 30 巻 4 号より一部変更)

(平成 25 年 31 巻 4 号より一部変更)

(平成 27 年 33 巻 4 号より一部変更)

(平成 28 年 34 巻 4 号より一部変更)